

6W エコロジーソーラーライト

取扱説明書

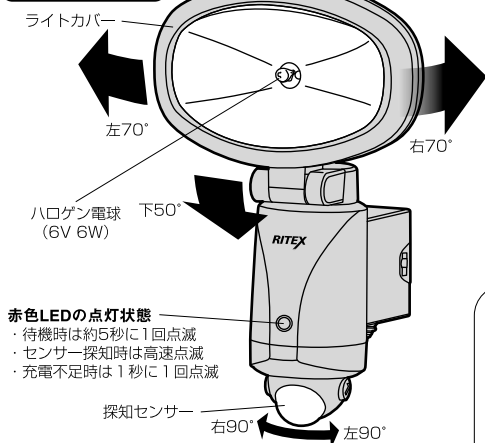
この度は、**RITEX 6W エコロジーソーラーライト S-120** をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

注意

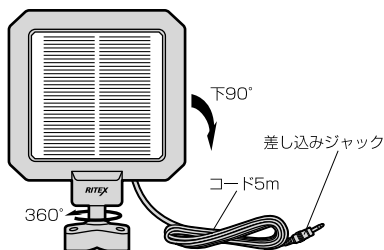
気温・気圧等の気象条件の変化によりセンサーがまれに誤作動することがありますが、故障ではありません。時間をおいて再度ご確認ください。

1. 部位説明

ライト本体



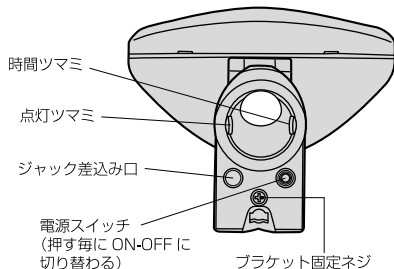
ソーラーパネル



付属品



底面から見た調節操作部



2.仕様

ライト本体		
ライト	種類	ハロゲンランプ 6V 6W
バッテリー	種類	ニッケル水素電池
	電圧・容量	6V 1200mA
センサー	探知方式	焦電型赤外線センサー
	探知範囲	水平 約100°~180°・最長 約8m (取付け高さ2.5m)
スイッチ		ON/OFF
時間ツマミ		5~30秒
点灯ツマミ		昼~夜
サイズ (クランプ除く)		幅135mm×奥130mm×高220mm
重量 (クランプ除く)		約400g
クランプでの取付けサイズ		・厚み/最小約15mm~最大約110mm ・パイプ径/最小約30mm~最大約85mm
1日平均点灯回数 ※点灯時間を約30秒にした場合		・春夏秋 平均25回 (満充電時60回) ※使用可能な平均日照時間3時間 (東京) ・冬 平均15回 (満充電時60回) ※充電可能な平均日照時間2時間 (東京)
設置場所		屋内・屋外用 (防雨タイプ)


ソーラーパネル	
種類	結晶太陽電池
出力	7V 1W
サイズ (クランプ除く)	幅140mm×奥66mm ×高198mm
コード長さ	5m
クランプ取付けサイズ	・厚み/ 最小約15mm~最大約110mm ・パイプ径/ 最小約30mm~最大約85mm
重量 (クランプ除く)	約240g
設置場所	屋外用 (防雨タイプ)


3. 安全上のご注意


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止する為、必ずお守りいただきたいことを説明しています。安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。


■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です)

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

 **注意** 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

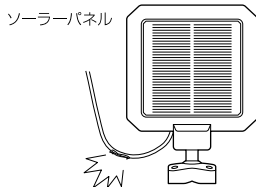
 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

ソーラーパネル、バッテリーについて

ソーラーパネルのケーブルを破損させない



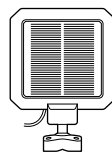
ソーラーパネルのケーブルを破損する、無理に曲げる、加工するなどしない。
また、重いものを乗せる、挟み込むなどしない。
火災、感電、故障の原因になります。

ソーラーパネルのケーブルが傷んだ時(芯線の露出、断線など)は、使用しない



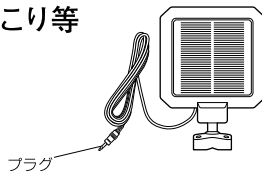
そのまま使用すると、火災、感電の原因になります。

専用のソーラーパネルを使用する



火災、感電、故障の原因になります。

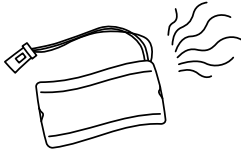
ソーラーパネルのプラグのほこり等を取る



時々点検してください。
ソーラーパネルの接続プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

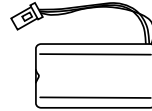
絶縁不良やショートで火災、感電の原因になります。

バッテリーの異臭、発熱、変形に気が付いた時は



ソーラーパネルの差込ジャックを本体から取外し、電源をOFFにして使用を中止し、(株)プロトまでご相談ください。

バッテリーを交換の時は



濡れた手や、本体が濡れた状態での、バッテリー交換はしないでください。交換の際は、必ずスイッチをOFFにしソーラーパネルを本体から外した状態でお取替えください。感電、故障の原因になります。

ご使用や設置について

本体は大量の水がかかる場所に設置しない



禁止

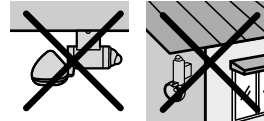


通常の雨、風には耐えますが、防水タイプではありません。※防雨構造はIP44電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。大量の水は故障の原因になります。※本体長くご愛用いただけるように、軒下での設置をお薦めいたします。

屋内・屋外に関係なく斜め向き、下向き、逆さまに取り付けない



禁止

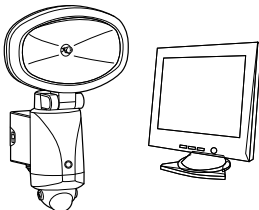


故障の原因になります。

家電製品の近くで使わない



禁止



テレビ、ラジオ、電子レンジ、蛍光灯、電話、ファックス、パソコン、OA機器や家電製品から2m以上離してください。故障、誤動作の原因になります。

付属品を使用する



必ず付属品で取付け、配線をおこなってください。

落下、故障の原因になります。

引火性溶剤は使わない



禁止

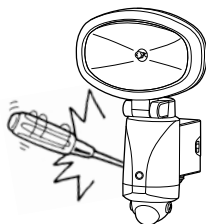


清掃のときは、水で濡らせた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤は使用しないでください。火災、感電の原因になります。

分解や改造をしない



分解禁止



修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

火災、感電、故障の原因になります。

燃えやすい物の近くに取り付けない



禁止



布や紙など燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けないでください。昼でも本体に物（布団や布等）を被せると点灯し引火する危険があるので絶対にしないでください。火災の原因になります。

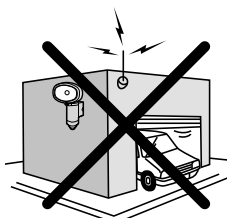
⚠ 注意

ご使用や設置について

電波を出す器具の近くに取り付けない



禁止



故障、誤動作の原因になります。

モーターや磁場を発生させる装置の近くに置かない



禁止



故障の原因になります。

※本機は探知範囲内に侵入する物（人、車等）に対して、注意を促しますが、盗難犯罪が発生しても一切の責任は負いません。

※製品改良のため、仕様及び外観は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

4. センサーの探知範囲

■ センサーは、最長約8m×180°の範囲で動く人や車を探知します。

※センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1、図2の条件に合う場所に取付けてください。

※夏場の周囲の温度が高く、人からでる体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。

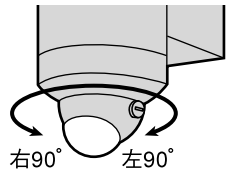
- 取付け高さが2.5mの場合の探知範囲です。
- 取付け高さは最高3mまでです。
- 取付け高さを1.5mにすると探知範囲は、図の約半分になります。

エアーマスクの取付け

エアーマスク図と同じ位置でセンサーの周囲の溝に差し込みます。

センサー左右角度調整

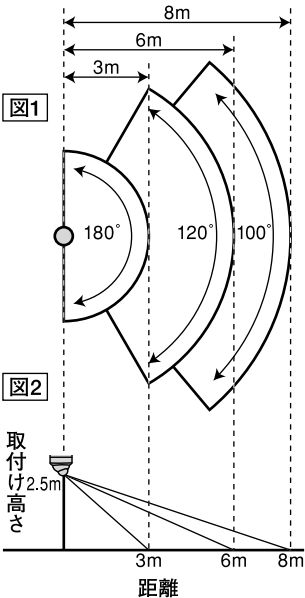
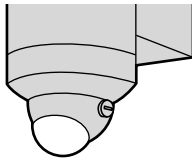
探知したい方向にセンサーを向けます。



エアーマスクなしの場合

探知範囲

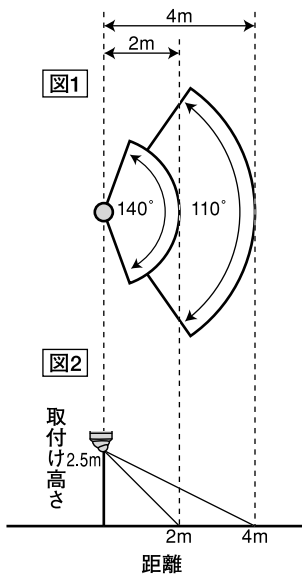
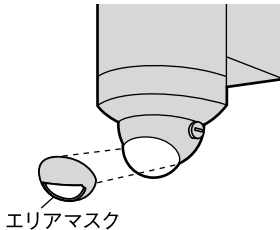
約100°~180° 最長約8m



エアーマスク使用時

探知範囲

約110°~140° 最長約4m



5. ご使用前にご確認ください

ご使用前に必ず下記の事項をご確認の上、安全にご使用ください。
指定された用途以外には絶対にお使いにならないでください。

確認
チェック

ご購入直後は充電が不十分です。
晴天の日に約2日間充電した後、
使用してください。

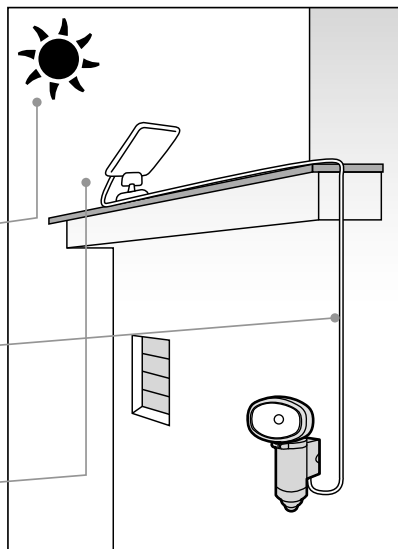
数日間天候の悪い日が続くと充電が不十分になります。
※電源スイッチをOFFにして充電してください。
また、ソーラーパネルの差込みジャックが本体に
しっかり差込まれているか確認してください。

確認
チェック

ソーラーパネルの
コードは5mです
本体との距離を確認の上、取付けてください。

確認
チェック

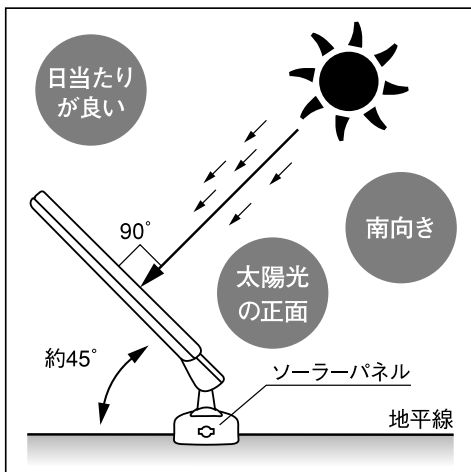
ソーラーパネルを
正しく取付けてください
※「ソーラーパネルの取付け場所」参照



取付けは確実に！

本体・ソーラーパネルは、安全な場所に確実に取付けてください。
また、事故を防ぐ為、安定した足場や十分な作業スペースを確保してください。
※「6.ライト本体の取付け方」、「8.ソーラーパネルの取付け方」参照

ソーラーパネルの取付け場所



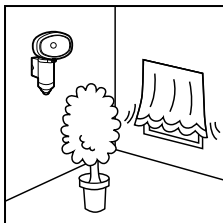
- 1 直射日光の当たる南向き
- 2 地平線の上方向約45°
- 3 日照時間の長い場所
- 4 木やビル等、太陽光を妨げるものがない場所
- 5 太陽光に対し正面になるようソーラーパネルの角度を調節

※地平線に対し約45°がもっとも充電効率のよい角度です。

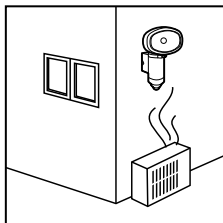
6. ライト本体の取付け方

ライト本体の取付け注意!

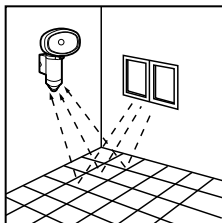
センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図のような場所に取付けると、誤動作や作動しないときがあります。



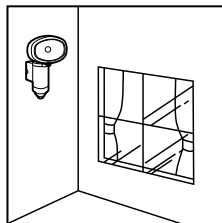
風などでゆれる植物やカーテン等の近く



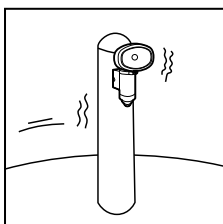
エアコン等の送風を受ける場所



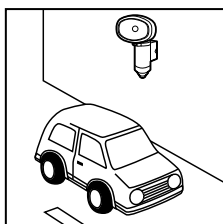
大理石の床や壁等の光の反射を強く受ける場所



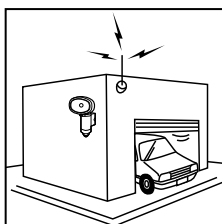
ガラスや壁ごしの場所



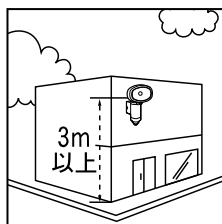
強い振動を受ける場所



車の通る道路に面した場所

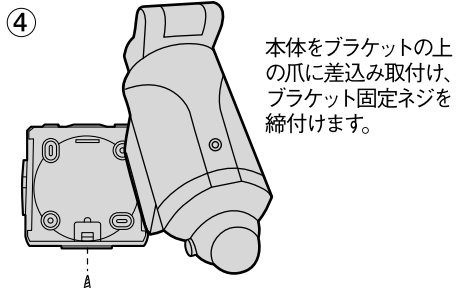
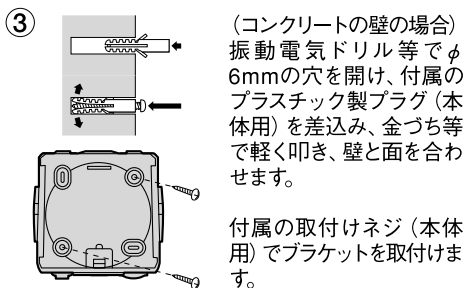
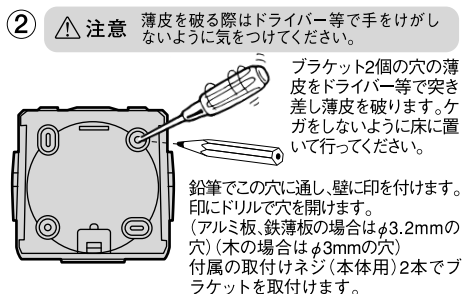
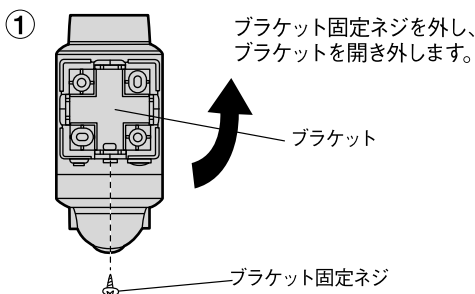


電波の強い場所

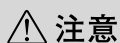


取付け高さが3m以上の場所

ブラケットで壁に直接の取付け方



クランプで挟む取付け方



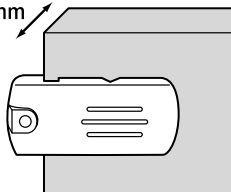
注意

クランプでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

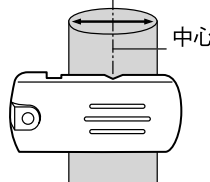
角柱・壁は奥までしっかりと入れて、挟み込んでください。

丸柱・パイプは大きさに合わせて挟む位置を替えてください。

15~110mm

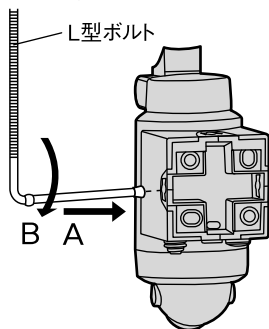


30~85mm



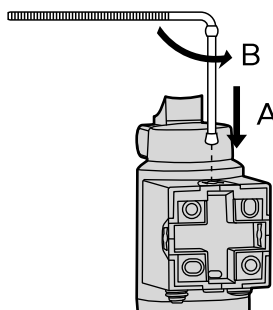
上向きの柱、パイプの場合

- ① ● L型ボルトをAの向きに差込み、Bの向きに90°回します。

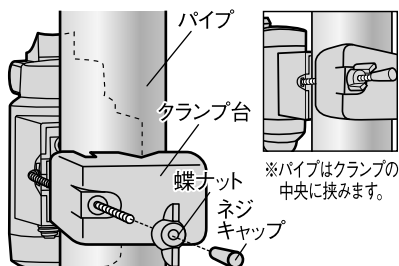


横向きの柱、パイプの場合

- ① ● L型ボルトをAの向きに差込み、Bの向きに90°回します。



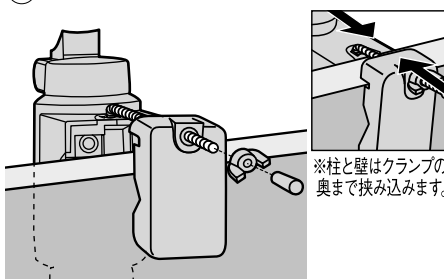
②



※パイプはクランプの中央に挟みます。

- L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

②



※柱と壁はクランプの奥まで挟み込みます。

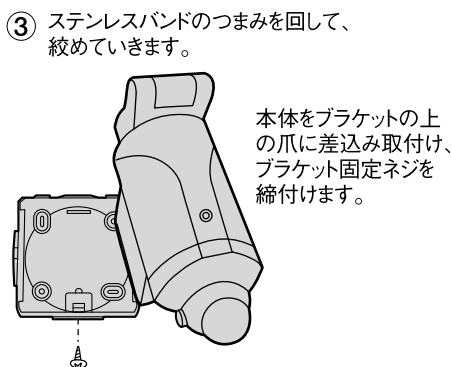
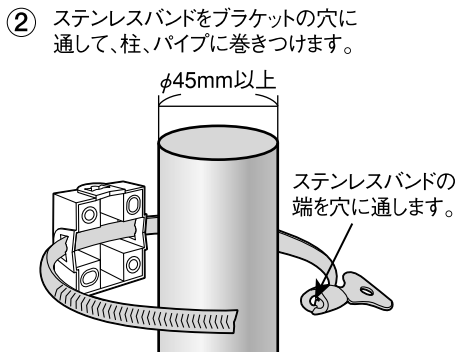
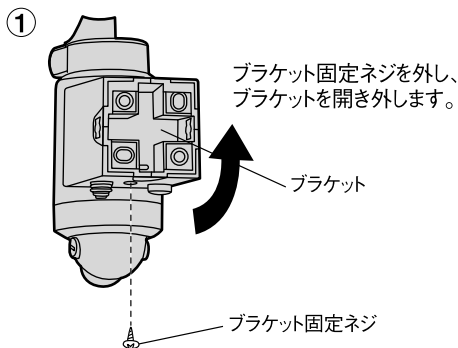
- L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

7. 市販のステンレスバンドでの取付け方

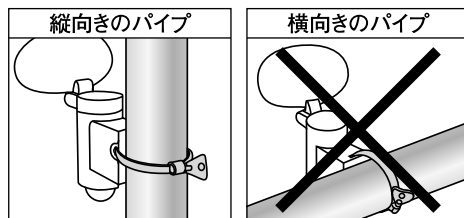
- 市販のステンレスバンド幅10mmまで使用できます。
- 市販のステンレスバンドを使用しても本機の破損や落下等の事故の保証はありません。

⚠ 注意 ・ステンレスバンドでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。
・ステンレスバンドを使用する柱には傷がつく場合があります。

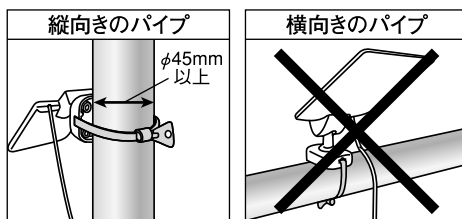
ライト本体



- ④
- 丸いパイプに取付けの場合、縦向き
のパイプには取付けできますが、横
向き丸パイプに対しては、本体
の重みで回転してしまう可能性が
あるので、取付けないでください。



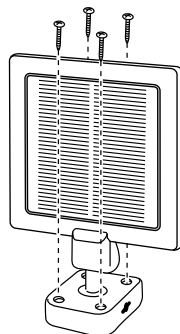
ソーラーパネル



8. ソーラーパネルの取付け方

壁に直接取付ける場合

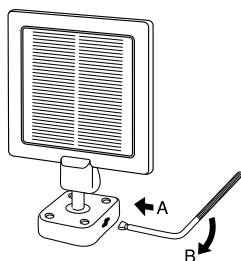
1. 木製の壁等に取り付ける場合、付属のパネル用取付けネジ4本で固定してください。
2. コンクリートの壁やアルミ板、薄鉄板への取付けは、「7.センサー本体の取付け方」と同様です。



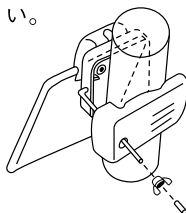
柱やパイプにクランプで取付ける場合

⚠ 注意 クランプ台は、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

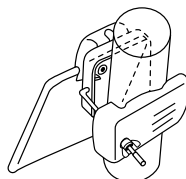
- ① L型ボルトをAの向きに奥まで差込み、Bの向きに90°倒します。



- ② L型ボルトをクランプ台に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップをつけてください。

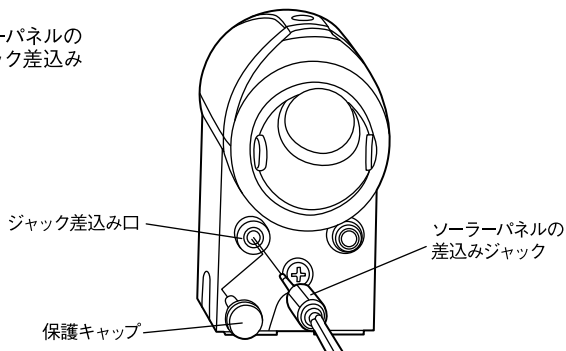


- ③ クランプ台の中央と、柱・パイプをしっかり合わせて挟み込んでください。



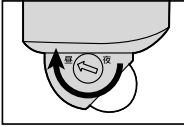
最後にソーラーパネルと本体を接続します

保護キャップを外して、ソーラーパネルの差込みジャックを本体のジャック差込み口にしっかり奥まで差込みます。

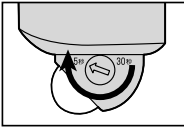


9. センサーの動作テスト

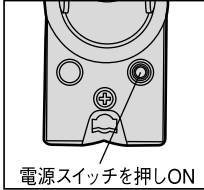
- 点灯ツマミを昼側に回す。
- 時間ツマミを5秒側に回す。



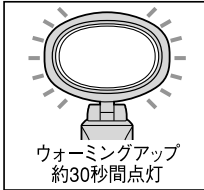
点灯ツマミ



時間ツマミ



電源スイッチを押LON



ウォーミングアップ
約30秒間点灯

ウォーミングアップ中にセンサー探知範囲から出る。もしくは探知しないようにセンサーを黒い布等で覆い、消灯するまで待つ。

点灯 ▶ 消灯

ウォーミングアップ終了

センサーを探知させる為に探知範囲に入るとすぐに出る。もしくは布を取って反応させてすぐにかぶせる。

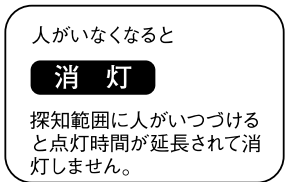
点灯 ▶ 消灯

約5秒後に消灯

赤色LEDの点灯で本機の状態が確認できます。

- 無点灯：スイッチOFF、充電不足
- 1秒間隔：充電不足
- 5秒間隔：待機状態
- 高速点滅：センサーが反応しライトが点灯
*ライトが点灯しない時は、球切れまたは、点灯ツマミの調整が夜になっている。
ツマミを昼側に回してください。

10. センサーの通常動作



11. センサーをお好みのモードに調節

1 時間ツマミ 約5秒～約30秒

点灯時間の調節は、図1のように5秒から少しずつ30秒側へ回し、その都度点灯時間を確認し調節してください。

- ※ ツマミ角度は時間とは比例しません。
- ※ 探知範囲に人がいつまでもいると点灯時間が延長され消灯しません。
- ※ センサーの探知範囲に入り点灯を確認後、すぐに探知範囲外へ出てください。
- ※ 周囲が実際に点灯させたい明るさの時に調節してください。

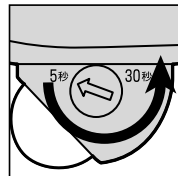


図1

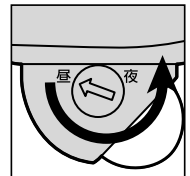


図2

2 点灯ツマミ

☀️ 昼も夜も点灯・🌙 暗い時だけに点灯

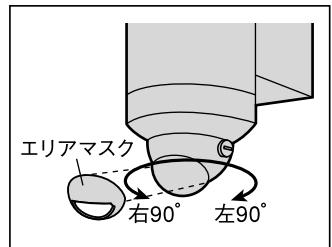
点灯させる周りの明るさ調節は図2のようにツマミを☀️～🌙に回すことで、点灯を調節することができます。

- ※ 夜でも他の照明の光が当たるときは昼側に半分以上回し調整してください。
- ※ 周囲が実際に点灯させたい明るさの時に調節してください。

3 センサーの探知範囲の調整

探知したい左右の方向にセンサーを向けます。探知距離を短くしたい時は付属のエアーマスクをつけます。

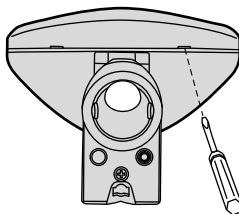
- ※ 「4.センサーの探知範囲」を参照。



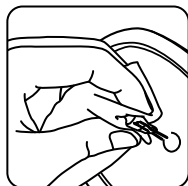
12. 部品交換について

ハロゲン電球の交換

- 1.電源スイッチをOFFにします。
- 2.ライトカバーに図のようにマイナスドライバーを差し込み、回すようにして開けます。
- 3.古いハロゲン電球を抜き取り、新しいハロゲン電球を取付けます。
- 4.ライトカバーを本体に取付けます。
- 5.電源スイッチをONにします。



マイナスドライバーで開けます。



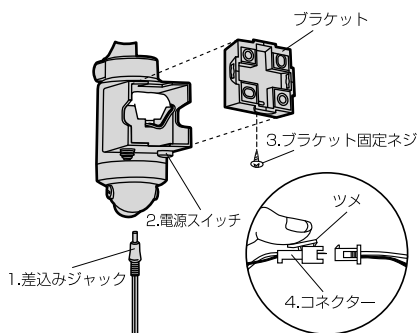
※ハロゲン電球はきれいな布・手袋などを使い、素手で触らないでください。

警告

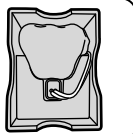
- ・点灯中、消灯直後は電球が熱くなっていますので絶対に交換しないでください。
- ・電球は消灯していても、本機の電子回路には電気が流れていますので、突然ライトがつく恐れがあります。必ず電源スイッチをOFFにしてからお取替ください。

バッテリーの交換

- 1.ソーラーパネルの差し込みジャックを抜きます。
- 2.電源スイッチをOFFにします。
- 3.ブラケット固定ネジを外し、ブラケットを外します。
- 4.バッテリーを取り出しコネクターのツメを押し、コネクターを外しバッテリーを取り外します。
- 5.バッテリーの取付けは、逆の要領で行ってください。



※コネクターは隙間に入れて、コードの配線は図のようにしてください。ブラケットをつける際に、コード、コネクターが挟まらないように注意してください。



ハロゲン電球 (6V6W) バッテリー (6V1200mA) のお買い求めについて

ハロゲン電球またはバッテリーは本機をお買い上げの販売店へご注文ください。尚、入手困難場合は直接(株)プロトにご注文いただければお送り致します。

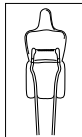
※但し、代金は前金でお願いします。郵便切手でも結構です。

【品番S-61】

替球
(ハロゲン電球 6V6W)

消費税・送料込み

¥1,300

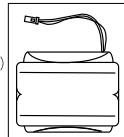


【品番S-62】

替バッテリー
(ニッケル水素 6V1200mA)

消費税・送料込み

¥5,000



13. お手入れの仕方

本体は中性洗剤をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないよう、よく拭きとります。



シンナー・ベンジン・磨き粉・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんは変色や傷の原因となるため、お使いにならないでください。



ソーラーパネルの表面の汚れの拭きとりは、年に1~2回実施してください。中性洗剤、又は水をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないようによく拭きとります。



一年に1~2回

ソーラーパネルとライト本体の取付けネジは、年に1~2回ゆるみやガタつきがないか点検してください。



一年に1~2回

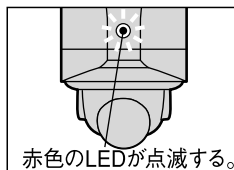
14.故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
点灯しない (赤色LED 無点灯)	スイッチがOFFになっている。	スイッチをONにする。
点灯しない (赤色LED 無点灯 または、赤色LED 1秒間隔点滅)	バッテリーの充電不足。	ソーラーパネルを太陽光の当たる場所に置く。(ソーラーパネルの汚れを拭きとる) スイッチをOFFにし、晴天日の約2日間で満充電にする。
	ソーラーパネルのジャックが本体から外れている。	ソーラーパネルのジャックを本体の差込口に差込む。
	ソーラーパネルのケーブルが傷んでいる(芯線の露出、断線など)。	本体の電源をOFFにしてパネルを取り外して使用を中止してください。本体、ソーラーパネルの一式を当社宛に修理としてお送りください。
点灯しない (赤色LED 5秒間隔点滅)	探知範囲の設定が適切でない。	探知範囲を調節する。(探知させたい方向に向ける)
	センサーに向かって直進している。	本機に向かって直進した場合、探知が鈍くなります。
	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。
	蒸気や雨などの水滴がついている。寒冷地などで顔がマフラーで覆われている。手袋をしている。	本センサーは人の動きによる温度変化分を探知するため、左記のような状況では探知しにくい場合があります。
	探知部に他の照明器具の光が入っている。	点灯切替スイッチを 昼 にする。または、他の照明器具の光が入らない場所に設置する。
点灯しない (赤色LED 高速点滅)	電球がついていない。 電球が切れている。	電球を付ける。 新しい替球を販売店で購入して交換する。
消灯しない	探知範囲内に人がいる。	探知範囲外に移動する。
昼なのに点灯する	点灯切替スイッチが 昼 になっている。	点灯切替スイッチを 夜 にする。
探知範囲に人がいないのに点灯する	探知範囲内に誤動作源がある (例) ・他の照明器具・エアコンの吹出口 ・犬や猫などが動いている。 ・風などでよくゆれる物 (看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等)	誤動作源を取り除く (左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する)
探知距離が短い	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。
	センサー方向がずれている。	センサーを探知させたい方向に向ける。

現象	考えられる原因	処置
探知範囲に人がいるのに消灯する	時間切替スイッチが5秒になっている。	時間切替スイッチを30秒にする。
	探知範囲内で人が静止している。	本センサーは静止している人は性能上探知できません。
点灯回数が少なくなった (赤色LED 1秒間隔で点滅)	バッテリーの充電不足。	ソーラーパネルを太陽光の当たる場所に置く。(ソーラーパネルの汚れを拭きとる) スイッチOFFにし、晴天日の2~3日で満充電にする。
	バッテリーの寿命。	本機のバッテリーは平均500回の充電です。 使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて電池の容量は少しずつ低下します。満充電しても点灯回数が大幅に少なくなった場合は、寿命とされますので、販売店に注文して新しいバッテリーに取替えてください。

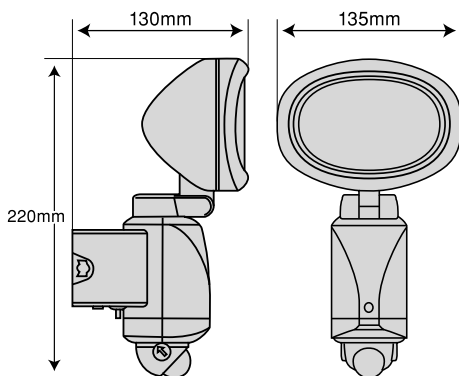
赤色LEDの点灯で本機の状態を確認できます

- ・ 無点灯 : スイッチOFF、充電不足
- ・ 1秒間隔点滅 : 充電不足
- ・ 5秒間隔点滅 : 待機状態
- ・ 高速点滅 : センサーが反応しライトが点灯



15.サイズ

本体



ソーラーパネル

